

令和元年度 北海道羽幌高等学校 外部アンケート（保護者） 前期集計

9月17日（火）実施 回答数24名

A:あてはまる＝4点 B:だいたいあてはまる＝3点 C:あまりあてはまらない＝2点 D:あてはまらない＝1点

領域		評価の観点		【評価】	【ご意見】
学校運営	組織運営	1	本校の学校教育目標や教育実践は、生徒の実態や保護者・地域住民の願いを踏まえたものとなっている。	3.29	・どのように改善しているのかわかりやすく周知をお願いします。
		2	目指す生徒像や育成を目指す資質・能力を踏まえ、学校内外の教育資源を活用した教育活動が実践されている。	3.42	
		3	前年度の学校評価や反省事項に基づいて、教育活動の改善を適切に行っている。	3.33	
	教職員とサービスの資質向上	4	信頼される学校づくりに向けて、交通法規等の法令遵守や体罰防止など服務規律の保持及び危機管理に努めている。	3.63	・教職員という仕事上、言動にも気を付ける必要があると思います。
		5	研修を積極的に推進し、実践的指導力の向上に励み、資質向上に努めている。	3.38	
		6	効率的な業務の精選・遂行とそのスケジュール管理に努めるなどして、「働き方改革」を進めている。	3.42	
教育活動	総務・教務	7	HPやメール配信、各種通信等で本校の教育活動を外部に積極的に発信している。	3.71	・自主的に学習しているが意欲的かどうか疑問があります。 ・家では宿題以外はほとんど勉強していません。 ・メール配信はありがたい。特に、テスト前や長期休業の前後に、生徒や保護者に向けたお願いや注意事項がまめに行われており、とても良いことだと思います。 ・メール配信は良い取組です。その情報で助けられたという話も耳にします。 ・生徒の主体性を伸ばすような授業を強く望みます。 ・地域との連携は取れていると思うが、まだできる気がします。
		8	学校行事の公開や地域の行事等への参加を通して積極的に地域や関係機関・他校種等との連携に取り組んでいる。	3.67	
		9	学校とPTAの連携が十分図られ、PTA活動も充実した取組になっている。	3.58	
		10	シラバスを活用した授業展開や観点別評価により学習評価を適切に行い、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図っている。	3.38	
		11	知識・技能の習得だけでなく、教科横断的に思考力や判断力、表現力などの活用学力を育む授業を実践している。	3.29	
		12	自主的・意欲的に家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせる工夫を行っている。	2.96	
	生徒指導	13	いじめ防止に向けた校内体制が確立されており、日常から生徒の状況把握及び未然防止・早期発見に努めている。	3.13	・ボランティア活動を一部の生徒だけでなく全生徒で活動していることを周知すると良いと思います。 ・ボランティア活動が自己有用感を高めることは理解できますが、やりたくない子どもに強制することが自己有用感をより低くしてしまう危険性も否定できないと思います。どの生徒にとっても、いつでも少しでも簡単に社会の役に立つ取組があるといいなと思います。 ・命や健康とともに、性教育指導も大事だと思います。
		14	学校行事や部活動等を通して生徒が自ら考え仲間と協働する力を育んでいる。	3.42	
		15	各教科の授業や各種教室・講演会等を通して命や健康・安全の大切さを指導している。	3.50	
		16	ボランティア活動等の地域と連携した活動を通して自尊感情や自己有用感の高揚を図っている。	3.42	
	進路指導	17	生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)を行っている。	3.42	・近年の大学や看護等の受験情報が整理されて生徒に情報提供されると学校選択もスムーズになると思います。 ・家庭の事情を理解した上で進路指導をしてほしいと思います。 ・なかなか決めれない生徒に対して、多少時間がかかっても対応してくれる柔軟性があるのも良いと思います。 ・先生方は良く頑張っておられます。
		18	収集・分析した進路情報を進路ガイダンスや保護者説明会などを通して生徒や保護者に適切に提供している。	3.38	